

UMAP Exchange Program and
UMAP Credit Transfer Scheme (UCTS)

UMAP 交換留学プログラム および UMAP 単位互換方式 (UCTS)

Users' Guide 利用者ガイド



UMAP
University Mobility
in Asia and the Pacific

CONTENTS

はじめに.....	1
a. なぜアジア共通の教育枠組みとして UCTS が必要なのか？.....	1
b. UCTS は誰にどのようなメリットがあるのか？.....	2
c. UMAP 利用者ガイド執筆者.....	2
1 UMAP とは？.....	3
2 UMAP 交換留学プログラム.....	4
3 参加対象.....	5
4 UMAP 交換留学プログラムの 3 大構成要素.....	6
1) UMAP 学生交流に参加するための公約書（以下 UMAP 参加公約書）....	6
2) UCTS 活用に関する情報発信.....	6
3) UMAP 学修計画.....	6
4) UMAP 参加公約書（サンプル）.....	7
5 UMAP 単位互換方式 (UCTS).....	9
1) 目的.....	9
2) UCTS の定義.....	9
6 世界の単位制度と UCTS の換算表.....	10
7 アジア太平洋地域における学業成績評価制度の比較.....	11
8 UMAP 交換留学申請手順.....	13
1) 学生個人情報.....	14
2) UMAP 学修計画書の履修科目案.....	15
3) UMAP 学修計画の承認.....	15
4) UMAP 交換留学申請書の例.....	16

はじめに

a. なぜアジア共通の教育枠組みとして UCTS が必要なのか？

多数の学生を教育交流に参加させるためには、共通した単位互換方式など、アジア太平洋地域における高等教育に透過性のある枠組みが必要である。

アジア太平洋大学交流機構（UMAP: University Mobility in Asia and the Pacific）は、域内のより活発な学生交流を促進するために、共通の単位互換制度として、UMAP 単位互換方式（以下 UCTS: UMAP Credit Transfer Scheme）を開発した。開発当初は、欧州単位互換制度（ECTS: European Credit Transfer and Accumulation System）がその基本概念として採用された。その後、2013 年 5 月、UMAP 国際理事会は、アジア高等教育機関の単位制度の違いに即した、ECTS とは異なる概念を UCTS に導入した。

本利用者ガイドでは、教育機関同士が教育内容に関する機関ごとの違いを相互に理解し、相互の信頼性を向上させるための共通の指標について説明する。そして、共通の指標としての UCTS を使用することによって、参加機関同士の学生交流が促進されることを期待する。参加大学や交流学生の数が急速に増加すると、それに伴う事務処理を円滑に行うために、透明性と互換性があり、システマチックに処理できる制度が必要となる。それがなければ大学は大規模な国際交流を管理することが困難になるからである。新たに導入された UCTS は、そうした条件を満たす透過性のある枠組みの一部である。UCTS はアジア太平洋地域の様々な履修単位数をシステマチックに測定し、公平に相互の違いを理解し、単位互換を円滑に行うことができるツールであり、アジア太平洋地域の高等教育機関のみならず、世界中の地域との単位互換並びに学生交流を促進するために活用できる。

b. UCTS は誰にどのようなメリットがあるのか？

学生	<ul style="list-style-type: none"> • UCTS を活用する国・地域間の単位制度の違いがより比較しやすくなり、派遣機関による単位互換の算定方法が簡素化される。 • 国外で取得した科目／単位を派遣機関がより認証しやすくなり、単位互換が認められる科目数や単位数を拡大できる。 • UCTS により、在籍大学で互換できる単位数が正確にわかるため、帰国後の履修計画が立てやすくなり、遅延なく卒業することができる。
教職員	<ul style="list-style-type: none"> • 国・地域間の単位制度の違いが比較しやすくなり、国外で取得すべき科目・単位数について学生に指導しやすくなる。 • 単位数の換算が容易になり、受入機関から派遣機関への単位互換がより円滑にできるようになる。 • 単位互換に係る事務処理の時間数を削減できる。 • 異なる単位制度との単位互換が公平且つ円滑に行えるため、世界中の大学と学生交流を実施できるようになる。

c. UMAP 利用者ガイド執筆者

堀田 泰司	広島大学国際センター教授、国際企画担当副理事
アンジェラ・ユンチー・ハウ (Angela Yung-chi Hou)	(台湾) 輔仁大学教授／台湾高等教育評鑑中心基金会執行長
グレン・F・デ・レオン (Glenn F. de Leon)	(フィリピン) アテネオ・デ・マニラ大学国際交流室室長
小幡 浩司	福井大学国際地域学部副学部長、教授
芦沢 真五	東洋大学国際地域学部教授／UMAP 国際事務局事務次長

1

UMAP とは？

高等教育の国際化が普及し、世界中で第3期教育の制度や教育機関の拡張が進められている。また、国境を越えた協力が明瞭になり、学生交流も活発化している。高等教育におけるこのような重要な進展と動向に応じるため、アジアの国・地域は、域内の学生交流方式の共同モデルを開発するに至った。これにより、学生交流が推進されるだけでなく、域内の経済統合も促進されるだろう。

1991年、アジア太平洋の国・地域により国際ネットワーク「アジア太平洋大学交流機構（UMAP）」が設立された。UMAPは交換留学プログラムおよび共同研究事業を通して学生交流や有能な人材の循環を活発にし、アジア太平洋地域の国・地域でそれぞれがより深い国際理解を実現することを目指している。また、UMAPは非営利団体であり、主として政府部門および高等教育機関で構成されている。アジア太平洋の国・地域に所在地を置き、自国の認証評価機関から認定された高等教育機関は、UMAPに参加する資格を有する。2016年9月現在、35の加盟対象国・地域のうち11の国・地域の514機関が参加している。

UMAPはその目的に応じ、学生交換留学のためのセメスターおよび夏季プログラムと、共同研究のための研究ネットという、2種類の地域交流構想を生み出した。参加機関はUMAPセメスター交換留学生の授業料を免除し、交換留学中に行う学修については、学生の派遣機関の学位に必要な単位を付与する。さらに、UMAPはプログラムC（超短期プログラム）の参加学生に奨学金を提供している。研究ネットにおいて、参加機関の研究者、教員や職員が、異文化間のコミュニケーションや相互理解を促す可能性を探るために、国境を越えた高等教育の領域で協力することが奨励されている。

2

UMAP 交換留学プログラム

UMAP 交換留学プログラムのもと、各国の認定判断の妥当性に対する相互承認に基づいて、認定された高等教育機関、または高等教育機関コンソーシアム間で学生交流が強化および促進されている。

UMAP が管理・運営している留学プログラムには、以下の 3 種類がある。

プログラム区分

プログラム A	UMAP 多大学間交換留学プログラム [UME]	<p>多大学間交換留学プログラムでは、UMAP 参加大学が年間 2 名の学生の派遣および受入れを行う。UMAP 参加大学 2 校が 3 名以上の学生の交換留学を希望する場合には、両者が二大学間協定に署名することで可能となる（プログラム B）。</p> <p>交換留学は UMAP 参加大学間にて授業料免除で行われる。プログラム（学部または大学院レベル）の期間は、秋季または春季のセメスターから始まる 1 または 2 セメスターが可能。</p> <p>各加盟国・地域の UMAP 国内事務局は、UME のコーディネーターの役割を果たす。受入大学は、受入れる交換留學生の授業料を免除し、適切な住居または十分な住居補助金を提供する。</p>
プログラム B	UMAP 二大学間交換留学プログラム [UBE]	<p>3 名以上の学生の交換留学を希望する UMAP 参加大学 2 校の間で行う二大学間交換留学。授業料の免除／非免除の条件は、受入大学によって決まる。プログラム（学部または大学院レベル）の期間は、秋季または春季のセメスターから始まる 1 または 2 セメスターが可能。</p> <p>各加盟国・地域の UMAP 国内事務局は、UMAP 参加大学間 UBE のコーディネーターの役割を果たす。参加学生の在籍大学での取得単位の認定を容易にするために、参加大学は UCTS を活用することが奨励される。</p>

プログラム C	超短期プログラム (SSTP)	<p>SSTP は UMAP 参加大学が提供する短期(1～8週間)プログラム。通例、7月から9月までの間に提供され、選択可能な分野は文化研究、語学コース、職業訓練、アントレプレナーシップなど広範囲にわたる。UMAP は選ばれた参加学生に奨学金を支給する。</p> <p>各加盟国・地域の UMAP 国内事務局は、SSTP に参加する UMAP 参加大学のコーディネーターの役割を果たす。より具体的には、コースに関する情報を収集し、広報を支援する。</p> <p>学生は UMAP 所定の申請書を用いて SSTP に応募する。SSTP を提供する大学は、他の国・地域の UMAP 加盟大学から受入れる留学生から授業料を徴収することもできるし、免除することもできる。</p> <p>参加大学は、SSTP に単位を授与するか否かを定める。単位が与えられる場合は、UCTS を使って単位互換が行われる。</p>
---------	-----------------	---

3 参加対象

UMAP 加盟国・地域に所在地を置き、その国・地域において国の認定を受けたと認められる公立または私立のすべての高等教育機関は、UMAP プログラムに参加する資格を有している。

受入機関は、UMAP 交換留学生の授業料を免除し、交換留学中に行う学修について、学生の派遣機関の学位に必要な単位を付与する。

UMAP 加盟国・地域および参加高等教育機関は、UMAP 交流学生が行う学修を承認するための標準的な準備を整えるべく努力することに合意する。また、これらの機関は、異なる高等教育制度間の単位変換における透明性を図るため、任意で UCTS を活用することに合意している。

UMAP 参加機関に在籍する学部生および大学院生はいずれも、留学中に最短 1 セメスター、最長 2 セメスターにわたり、正規の学修を行う。

4

UMAP 交換留学プログラムの 3 大構成要素

1) UMAP 学生交流に参加するための公約書（以下 UMAP 参加公約書）

UMAP 交換留学プログラムに参加するには、各大学は、相互授業料不徴収を含む学生への生活支援やその他の学生交流に係る諸条件、並びに受入・派遣機関の在籍条件等を順守することを約束する UMAP 参加公約書を、UMAP 国際事務局（UMAP-IS）と取り交わす必要がある。

署名をすると、参加公約書は、終了日の 6 か月前までに、参加大学または UMAP-IS のいずれかが終了する旨を書面で通知しない限り、有効とされる。なお、終了する場合も、現にプログラムに参加している交流学生はその影響を受けない。

2) UCTS 活用に関する情報発信

UMAP 交換留学プログラムに参加するには、大学は他の参加大学との単位互換方式として UCTS を活用することを広く一般に知らせる必要がある。大学は各科目の UCTS 単位数をパンフレットやシラバス等に明記し、UCTS を用いた成績証明書を発行する必要がある。

3) UMAP 学修計画

受入大学が決まった学生は、履修科目を選択し、学修計画書に記入のうえ受入大学に提出することが求められる。学生は在籍大学の科目に相当する科目を受入大学で探す必要があるため、受入大学と在籍大学のシラバスやコース・カタログ（便覧）を比較し、履修を希望する科目名、単位数、UCTS により互換する単位数を計画書に記入しなければならない。受入大学は学生に対し学修計画書の作成について助言を与え、学生が留学する学期中に履修できる学修計画になるよう支援しなければならない。

4) UMAP 参加公約書（サンプル）

[_____]

および UMAP 国際事務局との間の 多大学間交換留学プログラム協定

アジア太平洋大学交流機構（UMAP）多大学間交換留学プログラム（UME）の加盟機関である _____（大学）, _____（国）は、UMAP の代表である UMAP 国際事務局（UMAP IS）に対し、

_____（大学）が UME のもとでの学部生または大学院生（以後「交換留学生」という）の交換留学の実施に関し、下記の条件に合意することを誓う。

1. 参加する交換留学生は、参加大学に在籍中の学生でなければならない。
2. 交換留学生の選抜は、受入大学の権限および自由裁量に従う。交換留学生の人数は、各大学年間 2 名までとする。ただし、受入大学と在籍大学との間で交換留学プログラムの参加学生人数を 5 人までとする合意がある場合を除く。
3. 交換留学生の受入大学への留学期間は最長 1 年間とする。
4. 交換留学生は、受験料、入学金、授業料を受入大学に支払う必要はない。
5. 交換留学生は、受入大学が所在地を置く国で交換留学期間と同期間のビザを申請するため、受入大学から在学証明書受入れ承諾書を受け取る。
6. _____（大学）がプログラム A（UME）を受入れ、または参加した後、学部生または大学院生は交換留学生として短期交換留学プログラム、プログラム B（UBE:UMAP 二大学間交換留学プログラム）、またはプログラム C（USC:UMAP 特別科目交換留学）への参加が認められる。
7. 交換留学生は、受入国の国際交流に関する条例・法令、そして、その他の一般条例・法令を厳守し、さらに、受入機関の学則にも従う。
8. 交換留学生は受入大学が提供するあらゆる科目／授業に登録することができる。ただし、受入大学が特定の制限を定めている科目は除く。

9. 参加大学は、各大学の規則および手順に従と同時に、UMAP 単位互換方式 (UCTS) によって交換留学プログラムで学生が取得した単位を認証し、単位互換することに合意する。
10. 参加大学は、交換留学生の住居を提供または住居探しを支援しなければならない。
11. 本プログラムの施行に関して、自由で幅広い参加が奨励される。詳細についてはすべて受入大学および在籍大学が議論のうえ合意しなければならず、必要な場合には UMAP-IS もこれに加わる。
12. 協定の終了は、終了日の少なくとも 1 年前に通知しなければならない。
13. 本協定は、各参加大学と UMAP-IS が署名した日から有効となる。協定は大学が UMAP-IS に対し書面で 6 カ月前に通知することにより終了できる。終了の場合、両当事者はプログラムに参加中の学生との約束をすべて果たすものとする。
14. 覚書は英語で締結される。協定の改定または修正は、UMAP 委員会および理事会との協議により書面で行われなければならない。

(署名) _____ (署名) _____

(氏名) _____ 竹村牧男、博士

(役職) _____ 事務総長

(大学) _____ UMAP 国際事務局

(国) _____ 日本、東京

日付 _____ 日付 _____

5

UMAP 単位互換方式 (UCTS)

1) 目的

UCTS は単位互換を伴う大学間の学生交流を促進するために開発され、UMAP 加盟国・地域及び他の地域との間の、より活発な学生交流に活用されることを目指している。

UCTS の概念は、各機関の既存の単位制度を統括または画一化しようというものではない。むしろ、共通の指標を用いて受入・派遣機関間の異なる教育内容についてより詳細な情報を相互に提供し、各機関が他機関の異なる制度や規則を正確、且つ公平に測定し、理解できるように設計されている。

2) UCTS の定義

UCTS は、アジア太平洋地域の異なる授業時間数や学修時間数に基づく 1 単位の価値を「等価」と見なし、UMAP 参加機関間の単位互換は、受入大学の 1 単位は派遣大学においても 1 単位として認証することを可能にした。これにより、単位互換に関する換算は簡素化され、アジア太平洋地域の学生交流を促進しようとしている。

このガイドにおける「授業時間数」とは、教師が授業中に学生を直接指導する時間を意味し、また、その 1 時間は実際の授業に費やされた時間数ではなく、大学が定めたカリキュラム上の「アカデミック・アワー」（学術的な規則上の 1 時間）として数えられる。よって、実際の時間の長さは国や機関により若干異なる。例えば日本の場合、1 授業時間は 45 分の授業を指すことが多いが、アメリカでは多くの機関が約 50 分の授業を行い、他のアジア諸国では、1 授業時間は 45 分から 60 分までと規定は異なる。

また、「学修時間数」は、学生が以下のすべての学習活動に費やされる時間数を意味する。

1. 授業／講義への出席
2. 自習、グループプロジェクト、チームディスカッション、試験準備、インターンシップ、個人研究など、その他すべての学業面で必要とされている学習作業

13 ～ 16 時間の授業時間数を含め、現在のアジアにおける学修時間数は 38 ～ 48 時間の幅がある。

したがって、UCTS の定義は以下の通りとなる。

1 UCTS = 38 ～ 48 時間の学修時間数

この学修時間数には 13 ～ 16 時間の授業時間数が含まれる。

6 世界の単位制度と UCTS の換算表

UCTS1 単位と様々な国や地域の単位（互換）制度との換算は次の表のとおりである。

国／地域	UCTS	アジア	米国	欧州 (ECTS)*	英国 (CATS)**
単位換算	1 UCTS	1 単位	1 単位	1.5 ECTS	3 単位
学修量	38-48 時間	38-48 時間	45 時間	37.5-45 時間	ECTS から換算
授業時間	13-16 時間	13-16 時間	15 時間	-----	-----

*ECTS – 欧州単位互換制度 (European Credit Transfer System)

** 英国の 3 単位は高等教育質保証機構 (QAA : Quality Assurance Agency for Higher Education) が説明している英国と ECTS との単位換算原則 (2008 年) に基づく。この原則は英国で単位累積互換制度 (CATS : Credit Accumulation and Transfer Scheme) を利用するすべての高等教育機関に対し効力を有する。

7

アジア太平洋地域における 学業成績評価制度の比較

高等教育機関における一般的な実施傾向

この表は次の文献からの抜粋である：堀田泰司他（2010）「ACTS と各国の単位互換に関する研究」（平成 21 年度文部科学省先導的
大学改革推進費による委託研究報告書（2009））、広島大学、全 403 頁

（2010 年 3 月）

	中国	韓国	日本	ブルネイ・ ダルサラーム	カンボジア	インドネシア	ラオス
卒業単位数の幅 (学士課程)	130～180 単位 (5 年制の専攻や 学部はさらに多くな る)	128～168 単位	4 年制では 124 ～163 単位 (2007 年)	多くの学部は 124 単位 (但し ASEM の会 議資料では、128 単位と明記されて いる)	4 年 122～ 164 単位	4 年 144～ 160 単位 (本調査対象校 3 校)	150～265 単位
成績の表記	大学により異なる が、主にパーセン ト制と段階制が用 いられている。 [パーセント制] Excellent (優 秀) (80-100%), Good (良好) (70-79%), Pass (合格) (60-69%), Fail (不合格) (0-59%) [段階制] 優秀 良好 合格 不合格	(1) 最高 4.5 A+ 4.5 (95-100) A 4.0 (90-94) B+ 3.5 (85-89) B 3.0 (80-84) C+ 2.5 (75-79) C 2.0 (70-74) D+ 1.5 (65-69) D 1.0 (60-64) F 0.0 (0-59) (2) 最高 4.3 A+ 4.3 A 4.0 A- 3.7 B+ 3.3 B 3.0 B- 2.7 C+ 2.3 C 2.0 C- 1.7 D+ 1.3 D 1.0 D- 0.7 F 0.0	これまでは、多く の大学が以下の 4 段階評価を採用し ていたとみられ る。 優 (A) 80-100% 良 (B) 70-79% 可 (C) 60-69% 不可 (D) 59% 以 下 しかし、近年では、 特に GPA の導入 に伴い「秀」を含 んだ 5 段階評価を 採用する教育機関 が増えている。 秀 (S) 90-100% 優 (A) 80-89% 良 (B) 70-79% 可 (C) 60-69% 不可 (D) 59% 以 下 *成績の表記方法 には、上記の「S」 等の他に、A、や A+ または、A * 等教育機関によっ て、異なることが 多い。	2009 年まで 80-100 1st Class Honours (第 1 級優等)、 70-79% 2nd Class (upper) Honours (第 2 級 (上位) 優等)、 60-69% 2nd Class (lower) Class Honours (第 2 級 (下位) 優等)、 50-59% 3rd Class Honours (第 3 級優等)、 40-49% Pass Degree (合格)、 39% 以下 Fail (不 合格) ただし、2009 年 からは 49% 以下 は不合格。 2009 年より GPA を導入し、 A+ 90-100%= 5.0 A 80-89% = 4.5 B+ 75-79%= 4.0 B 70-74%= 3.5 C+ 65-69%= 3.0 C 60-64%= 2.5 D+ 55-59%= 2.0 D 50-54% = 1.5 P 40-49% = 1.0 F 0-39% = 0	A 85-100% = 4.00 GP B+ 80-84%= 3.50, B 70-79% = 3.00, C- 65-69% = 2.50, C 50-64% = 2.00, D 45-49% = 1.50, E 40-44% = 1.00, F <0-40% = 0.00>	A 80-100 B 70-79, C 60-69, D 50-59 E 0-49 (E= 不 合格) ----- A 90-100 B 80-89, C 70-79, D 60-69, E 50-59 F 0-49 (F= 不合格)	A (4.00)= Excellent (秀), B+ (3.50)= Very Good(優+), B (3.00)= Good (優), C+ (2.50)= Fair (良), C (2.00)= Fair (良), D+ (1.50)= Poor (可), D (1.00)= Very Poor (準可), F (0.00)= Fail(不 合格), (%については確 認中)
GPA の有無	大学によって異な る	有	41%の大学で使 用 (2007 年度)	無 (2009 年度から は、UBD では、 導入)	有	有 (修了時の成績証 明書に反映され る)	有
大学独自の海外 協定大学との単 位互換の規定	特になし、各機関 が決める	卒業単位の 1/2 ま で	大学設置基準 28 条に準じている大 学が多いが、あ らかじめ履修科目 等が決まっている 教育プログラムで は、別途、互換出 来る単位数の上限 が定められている ことが多い。	2009 年より UBD では、「New Generation」プロ グラムを開始。 海外との単位互換 には、ECTS[16]、 UCTS[17]、 ACTS[18] に準じ た規定を採用	有 (大学ごとに規定 を設けている)	有 (ダブルディグ リープログラム等 により)	現在定まった規定 なし。教育省質保 証センターが作成 中

(2010 年 3 月)

	マレーシア	ミャンマー	フィリピン	シンガポール	タイ	ベトナム
卒業単位数の幅 (学士課程)	120 (学士の最低卒業単位数)、200 単位 (医学部など)	一般に、4 年もしくは 5 年間の学士課程であれば 200 単位以上、3 年間の学士課程であれば、140 から 200 単位の修得が、卒業のために必要	会計学 210 単位 経営学 138 単位 法学 134-152 単位 工学 185-225 単位	NUS: 3 年間の課程は 120 単位 (MC) で、4 年間の課程は 160 単位 (MC) + 優等学位プロジェクト/卒業論文。ただし、音楽学部は 168 単位 (MC) の課程がある。1 セメスターあたりの履修単位数は、平均 20 単位 (MC)。また、歯学部、法学部、看護学を除く医学部は別途定められている。 NTU: 3 年間の課程は 108 単位 (AU) で、4 年間の課程は 144-146 単位 (AU)。ただし、工学系の課程は 153-160 単位 (AU)。3 年間の課程は、ビジネス系で、その他 (人文、社会、理工系) は 4 年間の課程。1 セメスターあたりの履修単位数は、平均 16-21 単位 (AU)	130-150 単位、(人文・社会学系は 130-140 単位が多く、理工系は 140-150 単位が多い)	通常 135-140 単位 (要再確認)
成績の表記	(マラヤ大学の場合) 80-100 A 4.0 Distinction (優) 75-79 A- 3.7 Distinction (優) 70-74 B+ 3.3 Good (良) 65-69 B 3.0 Good (良) 60-64 B- 2.7 Good (良) 55-59 C+ 2.3 Pass (可) 50-54 C 2.0 Pass (可) 45-49 C- 1.7 Conditionally Passed (条件付合格) 40-44 D+ 1.3 Conditionally Passed (条件付合格) 35-39 D 1.0 Conditionally Passed (条件付合格) 00-34 F 0.0 Failed (不合格)	4: 75-100% Excellent (秀) 3: 40-74% Good (優) 2: 0-40% Fail (不合格) 1: Incomplete (評価保留)	通常 1 (Excellent) (秀) 2 (Good) (優) 2 (Fair) (良) 4 (Incomplete) (評価保留)	NUS, NTU 共に、以下の通り GPA ポイント A+ = 5.0 A = 5.0 A- = 4.5 B+ = 4.0 B = 3.5 B- = 3.0 C+ = 2.5 C = 2.0 D+ = 1.5 D = 1.0 F = 0	一般的には A Excellent (秀) = 4.0 GPT ポイント B+ Very Good (優+) = 3.5 B Good (優) = 3.0 C+ Fairly Good (良+) = 2.5 C Fair (良) = 2.0 D+ Poor (可) = 1.5 D Very Poor (準可) = 1.0 F Fail (不合格) = 0 その他には以下のような事例もある A Excellent (秀) = 4.0 GPT ポイント A- Very Good (優+) = 3.67 B+ Good (優) = 3.33 B Fairly Good (優-) = 3.00 B- Almost Good (良+) = 2.67 C+ Fair (良) = 2.33 C Almost (良-) = 2.00 Fair = 2.00 C- Poor (可) = 1.67 D Very Poor (準可) = 1.00 F Fail (不合格) = 0	有 (最低 1 ~ 最高 10、5 以下不合格)
GPA の有無	有	有 (成績の平均点を利用した評価システムは存在する)	有	NUS, NTU 共に、GPA を採用。NUS では CAP[19] (Cumulative Average Point) と呼ばれている。NTU では、TGPA[20] (学期ごと) と CGPA[21] (累積) についても活用している。	有 (法令化されている)	法令上はあるが、大学では未実施
大学独自の海外 協定大学との単位 互換の規定	国立大学 (UM[22]、UKM[23]) では、留学前に学修計画を作成する必要性や、科目内容の一致と GPA の最低ラインに基づく単位互換に関する規定が設けてある。私立大学では、海外の大学との提携プログラムも充実しており、単位互換については国立大学に比べて柔軟性がある。	不明	有	NUS, NTU 共に単位は編入できるが、評価は編入されない。よって、他大学で取得した科目の単位は自大学に算入できるが、評価は Pass/Fail の表示に変換され、GPA 及び学位の等級には反映されない。 両大学とも大学レベルの規程で、自大学において取得しなければならない最低限の単位数 (割合) を定めている。 ・ NUS: 学士課程—卒業必要単位の 50% 以上、または 80 単位 (MC) 以上。大学院課程—コースワーク型の修士課程では、修了必要単位の 50% 以上。 ・ NTU: 学士課程—3 年間の課程は 66 単位 (AU) 以上、4 年間の課程は 77 単位 (AU) 以上。ただし、NTU の大学院課程はこの単位数が規定されていない。	学士課程設置基準並びに大学院設置基準に準じている	有。国内外で推進している。

略語一覧

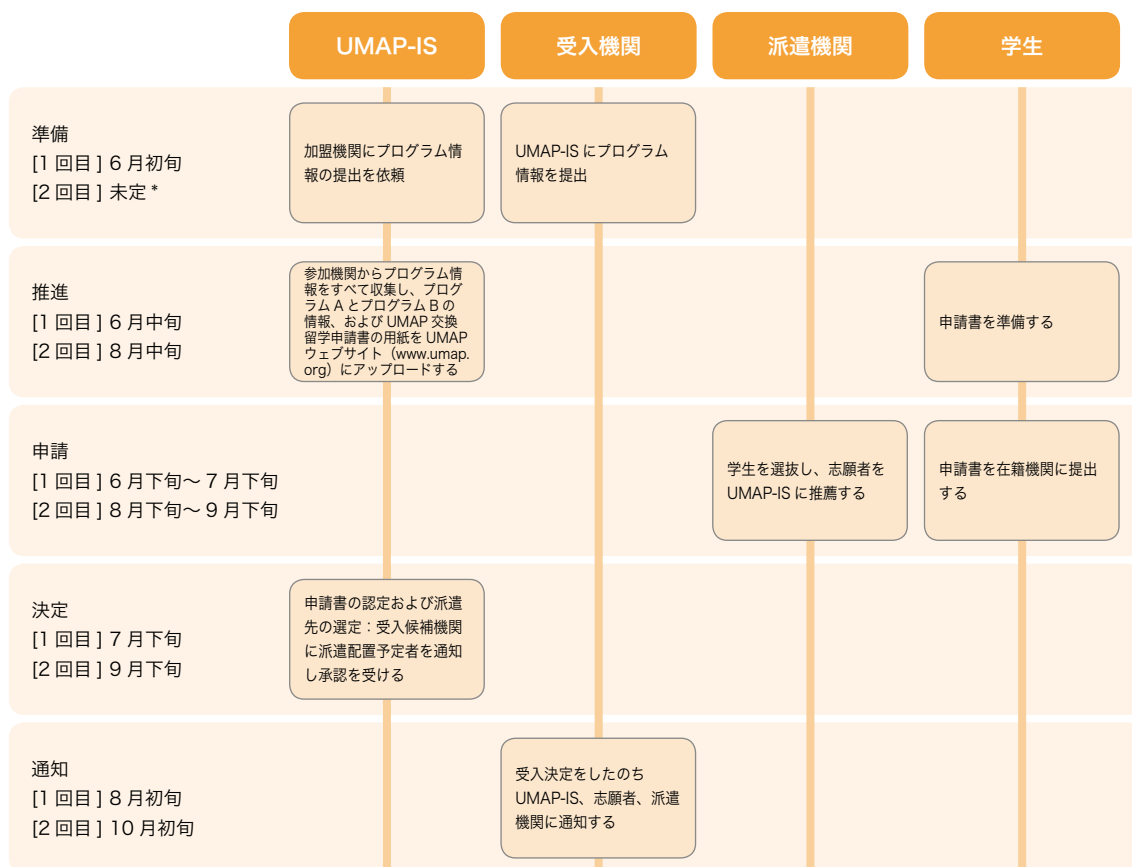
1	UBD	University of Brunei Darussalam (ブルネイ・ダルサラーム大学)
2	ASEM	the Asia-Europe Meeting (アジア欧州会合)
3	CHED	Commission of Higher Education of the Philippines (フィリピン高等教育委員会)
4	NUS	National University of Singapore (シンガポール国立大学)
5	NTU	Nanyang Technological University (南洋理工大學)
6	MC	Modular Credit (モジュール単位)
7	AU	Academic Unit (アカデミック・ユニット)
8	KCUE	Korean Council for University Education (韓国大学教育協議会)
9	NIAD	National Institute for Academic Degrees and University Evaluation, Japan (大学評価・学位授与機構、日本)
10	JUAA	Japanese University Accreditation Association (大学基準協会、日本)
11	JIHEE	Japan Institute for Higher Education Evaluation (日本高等教育評価機構)
12	JACA	Japan Association for College Accreditation (短期大学基準協会、日本)
13	BDNAC	Brunei Darussalam National Accreditation Council (ブルネイ・ダルサラーム国立基準協議会)
14	ACC	Accreditation Committee of Cambodia (カンボジア基準委員会)
15	FAAP	Federation of Accrediting Agencies of the Philippines (フィリピン評価団体連合)
16	ECTS	European Credit Transfer and Accumulation System (欧州単位互換制度)
17	UCTS	UMAP Credit Transfer System (UMAP 単位互換方式)
18	ACTS	ASEAN Credit Transfer System (ASEAN 単位互換システム)
19	CAP	Cumulative Average 1 Point (累積平均 1 ポイント)
20	TGPA	Term Grade Point Average (学期 GPA)
21	CGPA	Cumulative Grade Point Average (累積 GPA)
22	UM	University of Malaya (マラヤ大学)
23	UKM	National University of Malaysia (Universiti Kebangsaan Malaysia) (マレーシア国民大学)

8

UMAP 交換留学申請手順

UMAP 交換留学申請書および UMAP 学修計画書は、UMAP の様々な交換留学プログラムに学生が応募する際に用いる書式である。学生は派遣機関の科目と関連する科目を探し、選択科目や単位を含む学修計画書を完成させなければならない。

プログラム A および B の申請フロー



* 2 回目は、1 回目完了後に空き枠のある機関について UMAP-IS が進める。

UMAP 交換留学申請書および UMAP 学修計画書は、3 つのセクションで構成されている。

- (1) 学生個人情報
- (2) 受入機関で履修を希望する科目案リスト、および単位互換のための派遣機関と受入機関の各科目の単位数に関する詳細な情報。単位互換プロセスで、UCTS に関する追加情報を提供する必要が生じる場合もある。
- (3) 学生、および派遣機関と受入機関の権限を持つ職員の署名による UMAP 学修計画の承認

1) 学生個人情報

* 学生が記入する。

受入機関および派遣機関が入手した情報は、各機関の在籍学生について得ている個人情報と同等の極秘情報として扱わなければならない。

2) UMAP 学修計画書の履修科目案

* 派遣機関および受入機関と相談のうえ学生が記入する。

学修計画書には、選択科目、受入機関と派遣機関の科目単位、受入機関と派遣機関の UCTS 相当単位を記載する。

学修計画の承認には、学生、派遣機関、および受入機関の職員の 3 者による署名が必要である。

3) UMAP 学修計画の承認

* 学生、および受入機関と派遣機関の両機関の権限を持つ職員または指導教員が記入する。

UMAP 学修計画書は、受入機関での学生の出席や成績、および派遣機関による承認についての、独立した完全な記録となる。

4) UMAP 交換留学申請書の例

UMAP 2016-2 プログラム A: 交換留学申請書

学生個人情報	
氏名：	(氏) (名)
性別：	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女
生年月日：	(yyyy/mm/dd)
国籍：	
在籍大学／機関：	
学籍番号：	
学位および専攻：	
言語能力： (言語習熟度およびレベル)	
交換留学期間：	<input type="checkbox"/> 1 セメスター <input type="checkbox"/> 2 セメスター
連絡先：	Eメール： 電話：
選択大学上位 5 校： (最も希望する大学を 1 とする)	1.
	2.
	3.
	4.
	5.

重要：

- a. 学生は本申請書を直接 UMAP に送付してはならない。
 学生は本申請書を必要書類とともに派遣機関の国際交流室に送り、標準的な交換留学手順に従わなければならない。
- b. 他に質問がある場合には、派遣機関の国際交流室または UMAP 国際事務局 umap-is@umap.org に問い合わせる。

表

学生個人情報
(注：学生が記入すること。ここに記された情報は、在籍機関および受入機関により極秘情報として扱われる。)

* 学位欄は、B=学士、M=修士、D=博士を表す
受入機関:

2.1 学期間に履修する UMAP 学修計画 () / □ 春学期 (前期) / □ 秋学期 (後期) / □ その他の学期名 []、年度 []

注：学修により同時に2期目のセメスターの登録も必要な場合には、裏面の追加科目リストに続けて記入する。

3. 本学修計画に関係する関係者3名による学修計画書へのサイン(了承)

本計画書に学生が署名し、両機関の承認として指導教員／職員が連署すること。

UCTS を利用した UMAP 学修計画書

表

1. 学生個人情報

(注：学生が記入すること。ここに記された情報は、在籍機関および受入機関により極秘情報として扱われる。
学修計画書の情報は UMAP/UCTS の統計目的で使用される可能性があるが、個人を特定できない集計データとしての使用に限られる。)

学生の氏名:	AAAAAA BBBB	性別: <input type="checkbox"/> 男 / <input checked="" type="checkbox"/> 女	学籍番号:	123456789
在籍機関:	UMAP 在籍大学	母国:	(例) 日本	学位: <input checked="" type="checkbox"/> B / <input type="checkbox"/> M / <input type="checkbox"/> D
受入機関:	UMAP 受入大学	受入国:	(例) タイ	専攻: アジア太平洋研究

* 学位欄は、B = 学士、M = 修士、D = 博士を表す

2.

1 学期間に履修する UMAP 学修計画 (口春学期 (前期) / ☒ 秋学期 (後期) / ☐ その他の学期名 [1、年度[2016]]

受入機関での登録および在籍機関での単位互換を希望する科目番号および科目名のリスト				在籍機関		受入機関	
科目番号	科目名	科目番号	科目名	単位	在籍機関	単位	在籍機関
100	アジア・ビジネス	aaa	アジア経営管理	5		2	
		bbb	アジア組織行動学			2	
		ccc	UMAP 短期インターンシップ			1	
200	アジア・テクノロジー	ddd	科学技術・開発	3		2	
		eee	アジア科学技術入門			1	
300	アジア研究ゼミ	ggg	UMAP 研究ゼミ	1		1	

注：学修により同時に 2 期目のセメスターの登録も必要な場合には、裏面の追加科目リストに続けて記入する。

3. 本学修計画に関係する関係者 3 名による学修計画書へのサイン (承認)

本計画書に学生が署名し、両機関の承認として指導教員／職員が連署すること。

学生	在籍機関の指導教員／職員	受入機関の指導教員／職員
署名:	署名:	署名:
役職: 指導教員、アジア研究教授	役職: 学務室、教務係	役職: 学務室、教務係
日付: 月 / 日 / 年	日付: 月 / 日 / 年	日付: 月 / 日 / 年

CONTENTS

INTRODUCTION.....	1
a. Why is a Common Educational Framework, UCTS, in Asia Needed?.....	1
b. Who will benefit from UCTS and what are its advantages?	2
c. Contributors for UMAP Users' Guide.....	2
1 What is UMAP?	3
2 UMAP Student Exchange Program	4
3 Eligible Members	5
4 Three Main Components of UMAP Exchange Program	6
1) UMAP Pledge of Agreement.....	6
2) Announcement of UCTS	6
3) UMAP Study Plan	6
4) The Pledge of Agreement (Sample)	7
5 UMAP Credit Transfer Scheme (UCTS).....	9
1) Objective	9
2) Definition of UCTS.....	9
6 UCTS Credit Conversion with Other Parts of the World	10
7 Comparative Grading Scales in Asia and the Pacific	11
8 UMAP Student Exchange Application Procedures.....	13
1) Student's Personal Data	14
2) Proposed Subjects for UMAP Study Plan	15
3) Certification of UMAP Study Plan.....	15
4) Example of UMAP Application Form	16

INTRODUCTION

a. Why is a Common Educational Framework, UCTS, in Asia Needed?

International educators need a permeable framework, including a common credit transfer system, for higher education in the Asia-Pacific region if they want to mobilize a large number of students for educational exchanges.

University Mobility in Asia and the Pacific (UMAP) has developed a UMAP Credit Transfer Scheme (UCTS) to facilitate greater student mobility in the region by providing a framework for establishing credit transfer arrangements. The UCTS model originally adopted the European Credit Transfer and Accumulation System (ECTS). In May 2013, the UMAP International Board officially adopted a new concept for UCTS in order to simplify the process of credit transfer among Asian higher education institutions. This new concept of UCTS is different from the European Credit Transfer System, which we had referred to in the past.

This Users' Guide intends to illustrate standardized measures to harmonize specific differences among institutions regarding their educational contents in order to improve their level of mutual understanding and trust.

As a result, use of the framework will help promote student mobility among participating institutions. As the number of participating universities and mobility students rapidly increases, it becomes difficult for universities to manage large-scale international mobility without a simple (transparent, compatible, and systematic) system to process the attendant paperwork. The newly introduced UMAP Credit Transfer System (UCTS) is a part of the permeable framework. It has the potential to promote student mobility not only among higher education institutions in the Asia-Pacific region, but also with other parts of the world by providing a simple, systematic measurement tool to count academic credits in the Asia-Pacific region.

b. Who will benefit from UCTS and what are its advantages?

Students	<ul style="list-style-type: none"> • Credit system among countries/territories covered by UCTS can be compared easily, making it simple to determine the correct credit equivalencies at the home institutions. • The number of courses/credits taken abroad that can be transferred back to the home institutions can be calculated easily. • Knowing the correct number of credits to transfer to their home university through UCTS, students can be assured that they can complete their coursework requirements back home and graduate on time.
Faculty and staff members	<ul style="list-style-type: none"> • Credit systems and equivalencies across regions and countries are easy to compare, making it simple to advise students on the number of courses they need to take abroad. • Simple, hassle-free method for calculating credits and facilitating transfer from host to home institution. • Reduces the time needed to understand and calculate credit equivalencies. • Increases your chances of finding new student exchange partners around the globe by letting UCTS resolve difficulties in transferring credits.

c. Contributors for UMAP Users' Guide

Taiji Hotta	Vice-Executive of International Planning, Professor, International Center, Hiroshima University
Angela Yung-chi Hou	Professor, Fu Jen Catholic University, Taiwan / Executive Director, Higher Education Evaluation and Accreditation Council of Taiwan
Glenn F. de Leon	Director, Office of International Relations, Ateneo de Manila University
Koji Kobata	Professor, Deputy Dean of School of Global and Community Studies, University of Fukui
Shingo Ashizawa	Professor, Faculty of Regional Development Studies, Toyo University / Deputy Secretary General, UMAP International Secretariat

1

What is UMAP?

Growth in the internationalization of higher education is driving the expansion of tertiary systems and institutions throughout the world. It articulates cross-border collaboration as well as intensifies student mobility. In order to respond to this significant development and trend in higher education, Asian countries decided to develop a collaborative model of a student mobility scheme on a regional basis, which would not only increase student mobility but also strengthen economic integration within the region.

In 1991, the countries in Asia and the Pacific established an international network entitled “The University Mobility in Asia and the Pacific (UMAP)”. It aims at enhancing student mobility and talent circulation through exchange programs and joint research projects to achieve a better and international understanding within each of the countries and territories in the Asia-Pacific region. As a voluntary organization, it mainly comprises governmental sectors and higher education institutions. Not-for-profit higher education institutions located in the Asia-Pacific region and accredited by its home accreditors are eligible to participate in UMAP. As of September 2016, UMAP has 11 countries/territories with full membership among 35 eligible countries/territories and 514 institutional members.

According to its purpose, UMAP developed two types of regional mobility initiatives, including semester and summer programs for student exchanges and research nets for academic collaboration. Participating institutions are expected to waive tuition fees for UMAP semester exchange students, and to grant credits towards the student’s home institution degree for study undertaken while on exchange. In addition, UMAP provides scholarships for students who participated to the ProgramC (Super Short-Term Program). In term of the research net, the researchers, academics, and staff members from higher education institutions of UMAP member countries/territories are encouraged to collaborate with each other in the areas of cross-border higher education as well as to explore the possibilities of facilitating communication and mutual understanding across cultures.

2

UMAP Student Exchange Program

Under the UMAP Exchange Program, student exchange is enhanced and facilitated between individual accredited higher education institutions, or consortium of institutions on the basis of mutual acceptance of the appropriateness of national accreditation determinations.

UMAP Student Exchange Programs

Program A	UMAP Multilateral Student Exchange Program [UME]	<p>Multilateral exchange program in which UMAP affiliated universities send and receive two students per year. If any two UMAP universities would like to exchange more than two students, they may do so by signing a bilateral agreement (Program B). Exchanges are made between UMAP affiliated universities on a tuition-waiver basis. Programs (at the undergraduate or postgraduate level) can last one or two semesters, beginning in the fall or spring semester.</p> <p>The UMAP National Secretariat in each participating member country/territory acts as the coordinator for UME. The host university waives tuition fees and manages to assist or provide exchange students in accommodation.</p>
Program B	UMAP Bilateral Student Exchange Program [UBE]	<p>Bilateral student exchange made between any two UMAP affiliated universities that would like to exchange more than two students. Conditions for the waiver/non-waiver of tuition fees will depend on the host universities. Programs (at the undergraduate or postgraduate level) can last one or two semesters, beginning in the fall or spring semester.</p> <p>The UMAP National Secretariat in each participating member country/territory acts as the coordinator for UBE between UMAP affiliated universities.</p> <p>Participating universities are encouraged to use the UMAP Credit Transfer Scheme (UCTS) to facilitate the transfer of earned credits to the participants' home universities.</p>

Program C	Super Short-Term Programs (SSTP)	<p>SSTP are short-term (one to eight-week long) programs offered by UMAP affiliated universities. Programs are generally offered between July and September, and are available in a wide range of disciplines: cultural studies, language proficiency courses, vocational training, entrepreneurship, and more. UMAP awards scholarships to selected participants.</p> <p>The UMAP National Secretariat in each member country/territory acts as the coordinator for UMAP affiliated universities participating in SSTP. More specifically, it collects information about the courses and assists UMAP in promoting the courses. Students apply for SSTP using UMAP's standard application form. Universities offering SSTP may charge or waive tuition fees for students coming from UMAP affiliated universities in other countries/territories.</p> <p>Participating universities decide whether or not to offer credits for SSTP. If credits are offered, they can be transferred using the UCTS.</p>
-----------	----------------------------------	---

3

Eligible Members

All public or private higher education institutions located in UMAP member countries/territories, and recognized in the participating home country/territory as nationally accredited, are eligible to participate in UMAP programs.

Host institutions are expected to waive tuition fees for UMAP exchange students, and to grant credits towards the student's home institution degree for study undertaken while on exchange.

UMAP member countries/territories and their higher education institutions agree to work toward standard arrangements for recognition of study undertaken by UMAP students. These institutions have agreed to use UMAP Credit Transfer Scheme (UCTS) on a voluntary basis for transparency in the conversion of credits between different higher education systems.

Students, both undergraduate and postgraduate, from UMAP participating institutions undertake a period of formal study, a minimum of one semester and a maximum of two semesters, while on exchange.

4

Three Main Components of UMAP Exchange Program

1) UMAP Pledge of Agreement

To participate in the UMAP Exchange Programs, universities are expected to sign the Pledge of Agreement with UMAP International Secretariat in advance in order to accept the principles of the UMAP exchange program concerning obligations of home and host institutions, and the preconditions concerning funding arrangements, especially to waive tuition fees for exchange students on a reciprocal basis.

Once signed, the agreement is valid until the termination is notified by either the university or UMAP IS in writing at least (6) months prior to the proposed termination date. In the event of termination, respective parties will honor all commitments to students currently participating in the program.

2) Announcement of UCTS

To participate in the UMAP Exchange Programs, universities need to announce their use of UCTS as a conversion scale for credit to other participating universities. Universities are required to show the number of UCTS credits for each course and issue a transcript that uses UCTS credits.

3) UMAP Study Plan

Once assigned to a host university, students are required to make a UMAP Study Plan and submit it to the host university. Students need to find courses at the host university relevant to their courses at their home university. This can be done by comparing course descriptions, syllabi, or the university catalogs of the host and home universities, after which they complete the form with their selected courses, credits and also UCTS credit equivalence. The host university should offer advice to the student's study plan and help him/her to finalize his/her course selections for the coming semester.

4) The Pledge of Agreement (Sample)

THE PLEDGE OF AGREEMENT
on
UMAP MULTILATERAL STUDENT EXCHANGE PROGRAM
between
[]
AND UMAP INTERNATIONAL SECRETARIAT

..... (University), (Country), as a participating institution of the University Mobility in Asia and the Pacific (UMAP) Multilateral Student Exchange Program (UME), hereby pledges to the UMAP International Secretariat (UMAP IS) as the representative of UMAP, that (University) will agree upon the following terms for the implementation of exchanges of undergraduate or graduate students (hereinafter referred to as “exchange students”) under the UME:

1. All participating exchange students should be currently enrolled students from every participating university.
2. The selection of exchange students will be subject to the authority and discretion of each host university. The maximum number of exchange students will not exceed two (2) per academic year in each university unless agreed upon between host university and home institution to engage a maximum of five (5) students in exchange program.
3. Exchange students shall be permitted to stay at the host university not longer than one year.
4. Exchange students will not be subject to fees for examination, admission and tuition from host university.
5. Exchange students will receive a letter of enrollment or note from the host university to apply VISAs for a length of time equivalent to the exchange term in the country where the host university is located.
6. After (University) hosts or participates in Program A (UME), undergraduate or graduate students can be accepted as exchange students to Short-Term Exchange Programs, Program B (UMAP Bilateral Student Exchange Program: UBE) or Program C (UMAP Student Exchange on Special Courses: USC).
7. Exchange students comply not only with international exchange and other requirements of the host country but also with rules and regulations of the host institution.

8. Exchange students may enroll into any courses/classes offered by host university, except courses with specific requirements determined by that university.
9. All participating universities agree to accept credits and to transfer credits earned by students from exchange program via UMAP Credit Transfer Scheme (UCTS), subject to the regulations and procedures of the respective universities.
10. All participating universities shall manage to assist or provide exchange students in accommodation.
11. Concerning with the implementation of this program, open and widespread participation shall be encouraged; all details shall be discussed and agreed by host and home universities with UMAP IS whenever necessary.
12. Notification is required at least one year earlier to the end date for the termination of agreement.
13. This agreement should be valid from the date signed by each participating university with UMAP IS. The Agreement may be terminated by the university giving six (6) months written notice to UMAP IS. In the event of termination, the respective parties will honor all commitments to students currently participating in the program.
14. The memorandum shall be concluded in English. Any revision or modification of the agreement shall be made in writing through discussion in UMAP committee and board meeting.

(Signature) _____ (Signature) _____

(Name) _____ Makio Takemura, Ph.D.

(Title) _____ Secretary General

(University) _____ UMAP International Secretariat

(Country) _____ Tokyo, Japan

Date _____ Date _____



UMAP Credit Transfer Scheme (UCTS)

1) Objective

UCTS has been developed to promote university student mobility with the objective to ensure that credits are transferable for study undertaken on exchange between UMAP participating institutions, and to facilitate greater mobility between UMAP member countries/territories and other regions.

UCTS concept is designed not to control or standardize any pre-existing rules and regulations at institutions. Rather, it is designed to provide more detailed information regarding the academic experiences of mobility students at host institutions using standardized indicators, while at the same time allowing institutions to retain their own pre-existing systems and regulations.

2) Definition of UCTS

UCTS accepts a range of different teaching hours and student workloads as equivalent when they are used to calculate credits from different nations and higher education institutions. Thus, it will create a common credit conversion scheme where UMAP participating institutions can transfer credits among themselves on a one-to-one basis, thereby promoting student mobility in the Asia-Pacific region.

A teaching hour is defined as a contact hour that a teacher spends in one instruction session. One teaching hour will be counted as one academic hour, not based upon the exact length of teaching hours. The actual amount of time varies from institution to institution. For example, in the case of Japan, 1 academic hour often means 45 minutes of instruction; in the US, many institutions teach approximately 50 minutes; and in Asian institutions, one academic hour can be between 45 to 60 minutes of instruction.

The student workload is defined as the amount of time that students need to complete all learning activities which consists of:

- a. Attending classes/lectures
- b. Fulfilling all other academic requirements such as homework, group projects, team discussion, preparation for examinations, internships, and individual study, etc.

Including 13 to 16 teaching hours, currently, the student workload durations range from 38 to 48 hours in Asia.

Therefore, the definition of UCTS is as follows:

One (1) UCTS = 38–48 hours of student workload.

This includes 13-16 academic hours of instruction.

6 UCTS Credit Conversion with Other Parts of the World

The following table illustrates a recommended conversion of UCTS with various national and regional credit systems:

Country/Region	UCTS	Asia	USA	Europe (ECTS)*	UK (CATS)**
Credit Conversion	1 UCTS	1 credit	1 credit	1.5 ECTS	3 credits
Student Workload	38-48 hrs.	38-48 hrs.	45 hrs.	37.5-45 hrs.	Converted from ECTS
Teaching Hours	13-16 hrs.	13-16 hrs.	15 hrs.	-----	-----

*ECTS – European Credit Transfer System

**These 3 British credits are based on the conversion principle of British credits with ECTS defined by the QAA (2008). This principle is effective among all higher education institutions that use CATS (Credit Accumulation and Transfer Scheme) in the UK.

7

Comparative Grading Scales in Asia and the Pacific

General trends of implementation of higher education institutions

This Table is a part of Hotta, Taiji. et al (2010) 「ACTSと各国の単位互換に関する研究」(Study on the ASEAN Credit Transfer System and Credit Transfer Systems in Asian Nations) [The Report of Mission Research by the Promotion Fund of Leading University Reform, The Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in Japan (MEXT), 2009], Hiroshima University, 403 pp.

(March 2010)

	China	ROK	Japan	Brunei Darussalam	Cambodia	Indonesia	Laos
Range of the number of credits required for the completion of a Bachelor's program	130–180 credits (more for majors and departments with a 5-year system)	128–168 credits	124–163 credits for the 4-year system (in 2007)	124 credits for most departments (However, ASEM conference material states 128 credits)	122–164 credits in 4 years	144–160 credits in 4 years (at the 3 schools surveyed this time)	150–265 credits
Grades and notation policies	Dependent upon each university: mainly a percentage system or ranking system [Percentage system] Excellent (80–100%), Good (70–79%), Pass (60–69%), Fail (0–59%) [Ranking system] Excellent Good Pass Fail	(1)4.5 as highest point: A+ 4.5 (95–100) A 4.0 (90–94) B+ 3.5 (85–89) B 3.0 (80–84) C+ 2.5 (75–79) C 2.0 (70–74) D+ 1.5 (65–69) D 1.0 (60–64) F 0.0 (0–59) (2)4.3 as highest point: A+ 4.3 A 4.0 A- 3.7 B+ 3.3 B 3.0 B- 2.7 C+ 2.3 C 2.0 C- 1.7 D+ 1.3 D 1.0 D- 0.7 F 0.0	It seems that many universities have adopted the following 4-rank evaluation. Very good (A) 80–100%; Good (B) 70–79%; Passing (C) 60–69%; Fail (D) 0–59% However, with the introduction of GPA, more educational institutions have recently been adopting a 5-rank evaluation with "Excellent". Excellent (S) 90–100%; Very good (A) 80–89%; Good (B) 70–79%; Passing (C) 60–69%; Fail (D) 0–59% *Notation of grades often differs among educational institutions, such as A, A+, and A*, in addition to the above "S".	Until 2009 80–100 1st Class Honours, 70–79% 2nd Class (upper) Honours, 60–69% 2nd Class (Lower) Honours, 50–59% 3rd Class Honours, 40–49% Pass Degree, 0–39% Fail; However, 0–49% has meant fail since 2009. GPA was introduced in 2009: A+ 90–100% = 5.0 A 80–89% = 4.5 B+ 75–79% = 4.0 B 70–74% = 3.5 C+ 65–69% = 3.0 C 60–64% = 2.5 D+ 55–59% = 2.0 D 50–54% = 1.5 P 40–49% = 1.0 F 0–39% = 0	A 85–100% = 4.00 GP B+ 80–84% = 3.50, B 70–79% = 3.00, C- 65–69% = 2.50, C 50–64% = 2.00, D 45–49% = 1.50, E 40–44% = 1.00, F <0–40% = 0.00>	A 80–100 B 70–79, C 60–69, D 50–59 E 0–49 (E=Fail) A 90–100 B 80–89, C 70–79, D 60–69, E 50–59 F 0–49 (F=Fail)	A (4.00)= Excellent, B+ (3.50)= Very Good, B (3.00)= Good, C+ (2.50)= Fair, C (2.00)= Fair, D+ (1.50)= Poor, D (1.00)= Very Poor, F (0.00)= Fail, (presently researching the percentage)
Presence or absence of GPA	Depends on the university	Present	Used in 41% of universities (in 2007)	Absent (In UBD, introduced since 2009)	Present	Present (will be reflected on the transcript upon completion)	Present
University's own regulations on credit transfer with overseas partner institutions	Nothing in particular; each organization decides for itself.	Up to 1/2 of credits required for graduation	Many universities follow the Standards for Establishment of Universities, Article 28. However, in event that the educational program requires specified course work, the maximum number of credits to transfer is often stipulated separately.	In 2009, UBD started the "New Generation" program. Regulations for credit transfer with foreign universities are based on those in ECTS ^[16] , UCTS ^[17] , and ACTS ^[18] .	Present (Each university has its own regulations.)	Present (by double degree program, etc.)	There is no regulation yet. However, it is now being created by the Quality Assurance Center under the Ministry of Education.

(March 2010)

	Malaysia	Myanmar	The Philippines	Singapore	Thailand	Vietnam
Range of the number of credits required for the completion of a Bachelor's program	120 credits (minimum number of credits to complete the Bachelor's course); 200 credits (Medical Department, etc.)	In general, 200 credits or more for 4- or 5-year Bachelor's courses and 140–200 credits for 3-year Bachelor's courses are needed to graduate.	210 credits in Accounting; 138 credits in Management; 134–152 credits in Law; 185–225 credits in Engineering	NUS: 120 MCs for 3-year programs and 160 MCs + honors project/thesis for 4-year programs. Faculty of Music has a program with 168 MCs. The average number of MCs registered by a student per semester is 20 MCs. Also, there are separate guidelines for the Faculties of Dentistry, Law, and Medicine (excluding Nursing). NTU: 108 AUs for 3-year programs and 144–146 AUs for 4-year programs, except 153–160 AUs for Engineering programs. 3-year programs are Business-related, and others (humanities, social sciences, science & technology) have 4-year programs. The average number of AUs registered by a student per semester is 16–21 AUs.	130–150 credits (130–140 credits are common in humanities and social sciences, 140–150 credits in science and technology)	Usually 135–140 credits (Confirmation necessary.)
Grades and notation policies	(In the case of the University of Malaya) 80–100 A 4.0 Distinction 75–79 A- 3.7 Distinction 70–74 B+ 3.3 Good 65–69 B 3.0 Good 60–64 B- 2.7 Good 55–59 C+ 2.3 Pass 50–54 C 2.0 Pass 45–49 C- 1.7 Conditionally Passed 40–44 D+ 1.3 Conditionally Passed 35–39 D 1.0 Conditionally Passed 00–34 F 0.0 Failed	4: 75–100% Excellent 3: 40–74% Good 2: 0–40% Fail 1: Incomplete	Usually: 1 (Excellent) 2 (Good) 2 (Fair) 4 (Incomplete)	For both NUS and NTU: GPA point A+ = 5.0 A = 5.0 A- = 4.5 B+ = 4.0 B = 3.5 B- = 3.0 C+ = 2.5 C = 2.0 D+ = 1.5 D = 1.0 F = 0	Usually: A Excellent = 4.0 GPT point B+ Very Good = 3.5 B Good = 3.0 C+ Fairly Good = 2.5 C Fair = 2.0 D+ Poor = 1.5 D Very Poor = 1.0 F Fail = 0 There is also a case as below: A Excellent = 4.0 GPT point A- Very Good = 3.67 B+ Good = 3.33 B Fairly Good = 3.00 B- Almost Good = 2.67 C+ Fair = 2.33 C Almost Fair = 2.00 C- Poor = 1.67 D Very Poor = 1.00 F Fail = 0	Present (from lowest: 1 to highest: 10; 5 or lower: Fail)
Presence or absence of GPA	Present	Present (There is an evaluation system which utilizes the grade point average)	Present	Both NUS and NTU have adopted GPA. In NUS, it is called CAP ^[19] . In NTU, TGPA ^[20] (per semester) and CGPA ^[21] (cumulative) are utilized as well.	Present by law	Present by law, but not implemented at universities yet.
University's own regulations on credit transfer with overseas partner institutions	National universities (UM ^[22] and UKM ^[23]) have stipulated the requirement of making a study plan prior to study abroad and regulations on the credit transfer based upon the level of similarity of course contents and minimum GPA. Private universities have fuller affiliation programs with foreign universities and are more flexible in credit transfer than national universities.	Unknown	Present	At both NUS and NTU, credits can be transferred, but grades cannot. Credits earned at other universities can be converted into the credits required to receive a degree. Letter grades will be converted into Pass/Fail and won't be reflected in the GPA or the degree rank. Both universities have their own guidelines on the minimum number (ratio) of credits to be earned at NUS and NTU as below. • NUS: <u>Bachelor's programs</u> —the greater of 50%, or 80 MCs of the required credits for the degree program. <u>Master's programs</u> (course work-based)—a minimum of 50% of the required credits for the degree program. • NTU: <u>Bachelor's programs</u> —a minimum 66 AUs for 3-year programs and 77 AUs for 4-year programs. No guideline is provided for graduate programs at NTU.	Based on the Bachelor's Course Establishment Standards and Graduate School Establishment Standards.	Present. Both domestic and international credit transfer is promoted.

Glossary

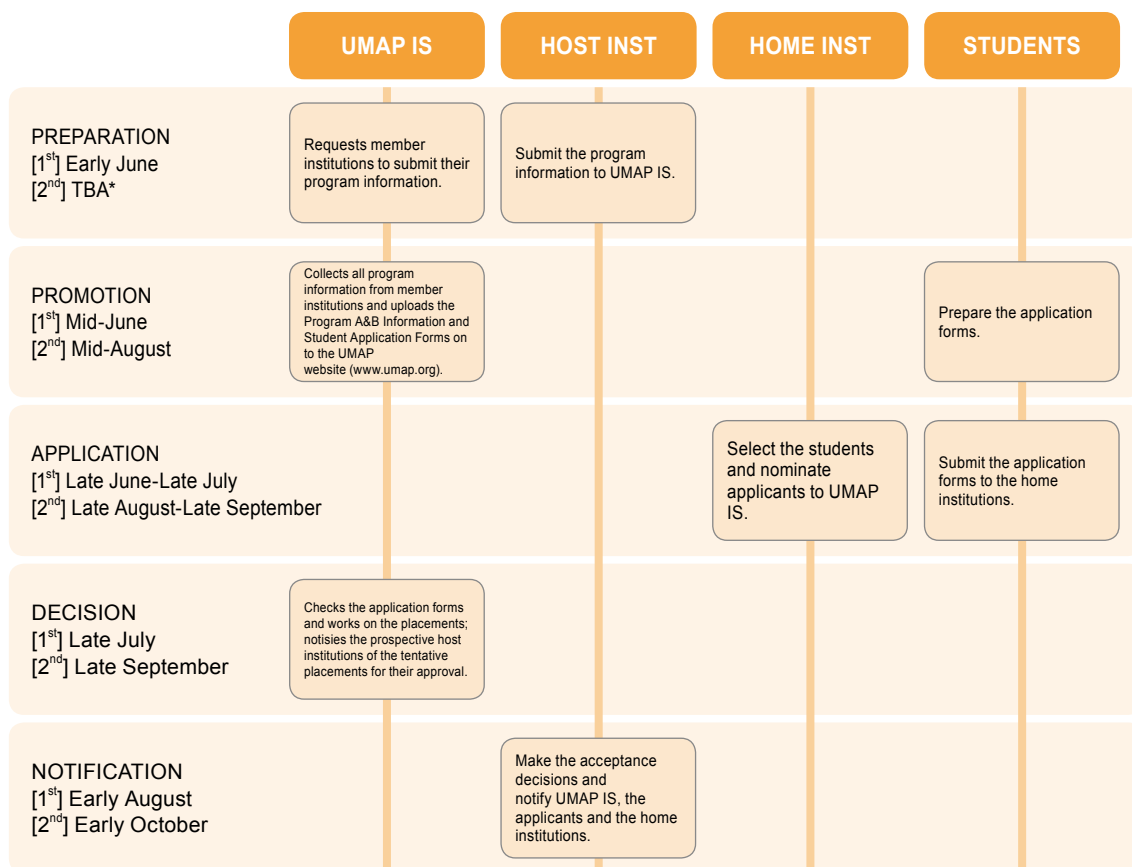
1	UBD	University of Brunei Darussalam
2	ASEM	the Asia-Europe Meeting
3	CHED	Commission of Higher Education of the Philippines
4	NUS	National University of Singapore
5	NTU	Nanyang Technological University
6	MC	Modular Credit
7	AU	Academic Unit
8	KCUE	Korean Council for University Education
9	NIAD	National Institute for Academic Degrees and University Evaluation, Japan
10	JUAA	Japanese University Accreditation Association
11	JHHE	Japan Institute for Higher Education Evaluation
12	JACA	Japan Association for College Accreditation
13	BDNAC	Brunei Darussalam National Accreditation Council
14	ACC	Accreditation Committee of Cambodia
15	FAAP	Federation of Accrediting Agencies of the Philippines
16	ECTS	European Credit Transfer and Accumulation System
17	UCTS	UMAP Credit Transfer System
18	ACTS	ASEAN Credit Transfer System
19	CAP	Cumulative Average Point
20	TGPA	Term Grade Point Average
21	CGPA	Cumulative Grade Point Average
22	UM	University of Malaya
23	UKM	National University of Malaysia (Universiti of Kebangsaan Malaysia)



UMAP Student Exchange Application Procedures

The UMAP Student Exchange Application Form and UMAP Study Plan are used for students who apply various student exchange programs under UMAP. These forms can be used both for incoming and outgoing students. The student must find subjects relevant to the course at the home institution, and complete the study plan with selected subjects and credits.

Application Flow for Program A & B



* The second cycle will be facilitated by UMAP IS for institutions that have unfilled spaces after the completion of the first cycle.

The UMAP Student Exchange Application Form and UMAP Study Plan are composed of three sections:

- (1) Student's personal data
- (2) A list of proposed subjects that students would like to take at a host institution, and detailed information about the number of credits for each subject at the home and host institutions for credit transfer. Additional information about UCTS may need to be provided for the credit transfer process
- (3) Certification of the UMAP Study Plan with signatures of the student and authorized home and host institution officers

1) Student's Personal Data

*To be completed by the student.

Information obtained by host and home institutions shall be handled with the same level of confidentiality as personal data obtained from their own students.

2) Proposed Subjects for UMAP Study Plan

*To be completed by the student in consultation with the home and host institutions

The study plan indicates: chosen subjects, subject credits of host and home institutions, UCTS credit equivalency of host and home institutions.

Three signatures are required for approval of the study plan: from the student, staff member at both home institution and host institution.

3) Certification of UMAP Study Plan

*To be completed by students and authorized administrative officers or academic advisers at both host and home institutions.

The UMAP Study Plan Form with UCTS serves as a self-contained record of the student's attendance and achievements at the host institution, and of recognition to be provided by the home institution.

4) Example of UMAP Application Form

UMAP 2016-2 Program A: Student Application Form

Student Personal Information	
Student Name:	(Surname) (Given name)
Gender:	<input type="checkbox"/> male <input type="checkbox"/> female
Date of Birth:	(yyyy/mm/dd)
Nationality:	
Home University/Institution:	
Student ID Number:	
Degree & Major:	
Language Ability: (Language Proficiency and Level)	
Period of Exchange Study:	<input type="checkbox"/> 1 semester <input type="checkbox"/> 2 semesters
Contact:	Email: Tel:
Top 5 Universities of Your Choice: (1 as the most desired)	1.
	2.
	3.
	4.
	5.

Important:

- a. Students are NOT allowed to send this application form directly to UMAP.
Students are required to send this application form along with the necessary documents to their home institution's office of international affairs, and follow the standard student exchange procedure.
- b. Should you have further questions, please contact your home institution's office of international affairs or you can reach us at umap-is@umap.org

UMAP Study Plan Form with UCTS

FRONT

1. STUDENT'S PERSONAL DATA

(NOTE: To be completed by the student. The information provided in this form will be treated in confidence by the home and host institutions. Data from the form may be used for UMAP/ UCTS statistical purpose, but only in an aggregated and non-identifiable manner.)

Student's Name: _____		Gender: <input type="checkbox"/> M/ <input type="checkbox"/> F	Student ID Number: _____
Home Institution: _____	Home Country: _____	DEGREE: <input type="checkbox"/> B/ <input type="checkbox"/> M/ <input type="checkbox"/> D	Univ. Year: : <input type="checkbox"/> 1/ <input type="checkbox"/> 2/ <input type="checkbox"/> 3/ <input type="checkbox"/> 4
Host Institution: _____	Host Country: _____	Major: _____	

* In the section of DEGREE, B = Bachelor, M=Master's and D=Doctoral Degree

2. DETAILS OF THE PROPOSED UMAP STUDY PLAN FOR ONE SEMESTER (☐Spring / ☐ Fall / ☐ Other term [] in Year []

Host Institution		(your) Home Institution	Credits	
Course #	Title	Course #	HOST Credits	HOME Credits

NOTE: If your study requires the 2nd semester registration at the same time, continue filling in the additional course list behind this sheet.

3. CONFIRMATION OF AGREEMENT ON STUDY PLAN BY ALL THREE PARTIES

This form must be signed by student and also counter-signed by the academic advisors/ staff members for both institutions' approval.

Student	Home institution's academic advisor/ staff member	Host University's academic advisor/ staff member
Signature: _____	Signature: _____	Signature: _____
	Title: _____	Title: _____
Date: _____	Date: _____	Date: _____

FRONT

(NOTE: To be completed by the student. The information provided in this form will be treated in confidence by the home and host institutions. Data from the form may be used for UMAP/UCTS statistical purpose, but only in an aggregated and non-identifiable manner.)

123456789

Major: *Asian & Pacific Study*

] in Year [2016]]

100

1

3. CONFIRMATION OF AGREEMENT ON STUDY PLAN BY ALL THREE PARTIES

This form must be signed by student and also counter-signed by the academic advisors/ staff members for both institutions' approval.

5

Title: Registrar, Office of Academic Affairs

Date: MONTH / DAY / YEAR

UMAP 日本国内委員会
(UMAP Japan National Committee)

事務局：

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

独立行政法人日本学生支援機構留学生事業部内

TEL: 03-5520-6012 FAX: 03-5520-6013

E-mail: umap@jasso.go.jp

〔2017 年 3 月〕



アジア太平洋大学交流機構 (UMAP)
日本国内委員会